



「そうじは心をこめて」「あいさつは自分から」

～ 2月13日(月)の全校集会より ～

三年生は、私立高校の入試が終わり、ちょっとひと段落というところでしょうか。これから、ひとりひとりが、それぞれ、立場が違ってきて、私立専願で、合格すれば、行先がはっきりする人、私立は、合格しても目標は公立でまだまだこれからという人、公立だけを受験するので、本当にこれからという人など。体育祭や文化祭や合唱コンクールと、同じ目標に向かって、心をひとつにしてやってきたのに、ついつい、自分のことに精一杯になってしまっていて、心がぼろぼろになってしまいがちなこの時期。でも、たとえ、ひとりひとりの置かれている立場が違ってきても、回りの人を思いやり、回りの人のがんばりに刺激を受けて、学年全員の進路が決まるまで、心をひとつにしてほしいものです。あなたたち三年生は、先生のみから見ても、本当に一年ごとにとっても成長した、たのしい学年です。でも、これからの中学校最後の1か月をどう過ごすかで、「真価」、本当の値打ちが決まります。思いやり、支えあいの気持ちを最後まで忘れずに頑張ってください。

さて、今日は、「掃除」と「あいさつ」について、話をしたいと思います。仕事柄、わりと、他の学校を訪問することが多いのですが、そこで気になるのが、学校の掃除が行き届いている学校とそうでない学校、生徒がよくあいさつしてくれる学校とそうでない学校です。

学校が新しいとか古いとかではなく、古くてもしっかり掃除ができていそうなと思う学校もあれば、まだ新しいのに、階段にほこりがたまっていたり、廊下も拭き掃除ができていないなあとという学校があったり。あいさつも会う生徒、会う生徒、「こんにちは！」とあいさつしてくれる学校もあれば、たとえ、生徒と廊下ですれ違っても、しらん顔で通り過ぎてしまう学校もあります。どちらが気持ちいいか、そんなの決まっていますよね。では、今の光陽中学校は、どうでしょうか。「掃除」は、どこもいきとどいているのでしょうか。よそから来られた方にもしっかり「あいさつ」ができていのでしょうか。もちろん、毎日、いっしょうけんめい掃除をしてくれている人がたくさんいますし、女子ソフトテニス部は毎朝ピロティを掃除してくれたり、剣道部は毎週土曜日、練習前に学校回りを掃除してくれたりしています。あいさつも毎朝、正門で自分からしっかりあいさつしてくれる人も多いです。でも、全体としてみると、掃除もあいさつももっと良くなれると先生は思っています。ここは、あまり掃除できていないなあと、あまりにも気になる時は、朝から掃除したりすることもあります。また、お客さんを下までお見送りするときに、ちょうど休み時間とかで、何人もの生徒とすれ違うこともあるのですが、もっとしっかりあいさつしてほしいなあと、思うこともあります。日本は特に「おもてなし」を大切にする国で、日本を訪れる外国人は、その心地よさに感心する人が多いです。そして、学校の「おもてなし」の基本は、「清潔さ」と「あいさつ」ではないのでしょうか。光陽中学校を訪れた人が、「気持ちのいい学校だな」「また来たいなあ」と思ってもらえるよう、「掃除は心をこめて」「あいさつは自分から」を合言葉にみんなで気持ちのいい学校にしていきたいと思います。

《 表彰より 》 おめでとう！！

岸和田市ジュニア卓球団体選手権大会

1部リーグ男子 優勝

Aチーム (青木 怜大・前川 琢真・坂本 悠真・山岡 歩夢・
宮国 祐輝・古家 爽汰郎・澤井 陽史)

1部リーグ女子 第3位

Aチーム (榎谷 由衣・北本 彩乃・田中 美優・阪田 未来・
仲林 詞葉・大久保 花穂・新田 弥加・川端 愛理)

